

横浜港の玄関として、2

002年12月に完成した大  
さん橋国際客船ターミナル。屋上広場には、船の甲板のような板張りの床と、うねるような芝生の丘が広がり、休日には家族連れやカップルでにぎわう。天気の良い日には、はだしになつてのんびりと、ちょっと待った！ 足元に注意しないと、思わぬこと。

◇ 同ターミナルは、04年度には年間157万人が訪れ

## 横浜港大さん橋 屋上

# 床板のトゲに注意！

耐久性高い

「イペ」材使用

いである。

市港灣局によると、屋上

た。全長450mの送迎デ

ッキからは横浜港のパノラ

マが360度広がる。床に

敷かれた板材は、イペと呼

の広場で遊ぶ子供が、転ん

だり素足で歩き回ったりし

て、とげが手足に刺さる事

故が、03、04年は、年間1

1時間ごとに場内放送を流

したりして、今年の件数は

半分以下に減ったものの、

けがをする子どもは後を絶

たないという。ほとんどが

小学校低学年以下の子供

11/24  
、05

## 子供のけが 昨年100件以上

ターミナルでは、窓口に  
とげ抜きと消毒液を用意し  
ているが、なかには、とげ  
が抜けず、病院に駆け込ん  
だケースもあった。

同局では「イペは木材で  
ある以上、とげをなくすこ  
とはできない。でも、規制  
すると、せつかくの開放的  
な空間で来場客の楽しみが  
なくなってしまう」と頭を  
悩ませ、「小さい子供から  
は目を離さないようにして  
ほしい」と注意を呼びかけ  
ている。